

清掃作業の省力化、迅速化、効率化を図る 交通安全施設等清掃車

交通安全施設等清掃車は、ガードレール清掃を中心に、これまで人力に頼っていた頭上標識や路側標識のような標識類の清掃を機械化した汎用清掃機械です。

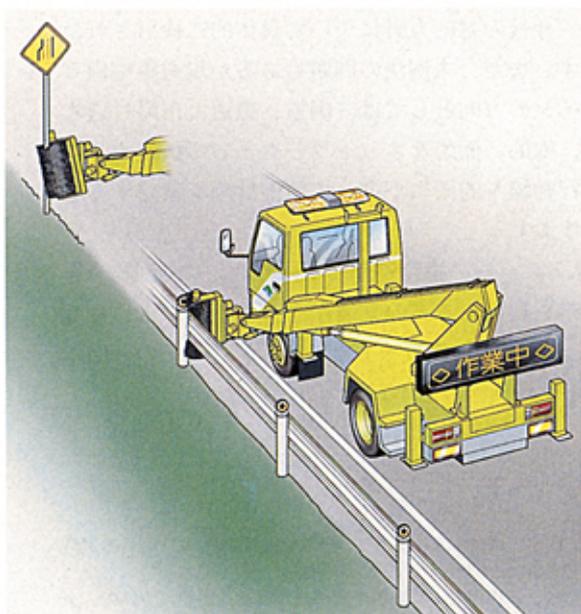
道路標識、防護柵等の道路施設は、排気ガス、汚水、粉塵で汚れるために、交通安全の確保や道路景観を損なわないように清掃を行っています。その清掃はガードレールを除いては人力施工によるもので、多くの人員、時間を要し、場合によっては高所作業となり危険をとまなうものとなっています。

そこで、これら作業を機械化することで、省力化、迅速化、作業効率の向上を図った交通安全施設等清掃車の開発を行いました。

交通安全施設等清掃車の特長は次のとおりです。

(1) ガードレール清掃

ガードレール清掃は、各種自動制御装置の採用により、簡易に運転操作を行うことができ、さらに、清掃装置の左右切り替えによる作業範囲の拡大、容易化、迅速化を実現します。また、油圧走行装置による低速速度制御機構を搭載し、精度の高い作業も可能となります。



低所作業状態

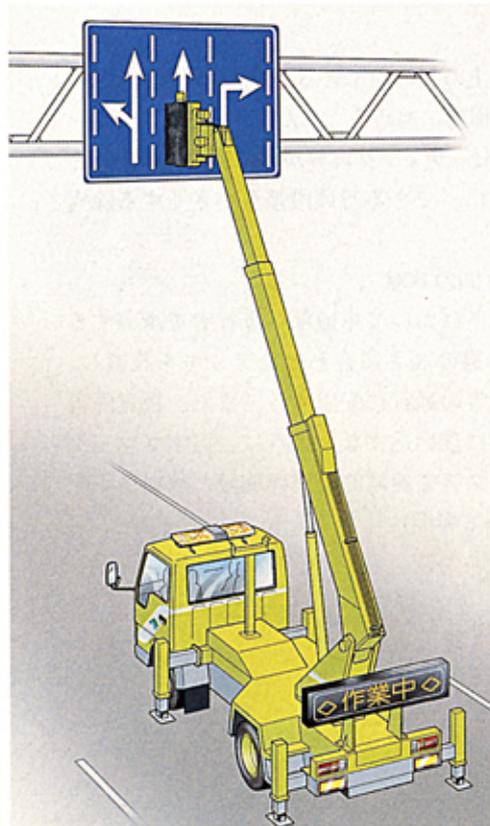
(2) 各種交通安全施設等の清掃

現在、必要の都度、人力で清掃されている道路標識、ガードケーブル、ガードパイプ、転落防止柵、防雪柵、デリニエータ、支柱、視線誘導標、カーブミラー等の交通安全施設等の清掃も伸縮ブームの採用により清掃が可能となり、多目的に活用できるとともに、苦渋作業が解消されます。

なお、この交通安全施設等清掃車は、平成10年度導入の予定です。

■問い合わせ/北海道開発局 建設機械工作所

☎ (011) 851-4111



高所作業状態